

プレゼンテーションアワー 2021 年度 活動報告書

1. Introduction

文責：アンドリュシュカイテ・アグネ

Presentation Hour is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, where anybody can talk about anything from their hobby to possession. The special twist of this event is that the presentations made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is free to all Nagoya University members, and people from different faculties can join to listen to the presenters. We aim to create a relaxed atmosphere by preparing coffee and snacks during the whole event.

Presentation Hour first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, after which it became an independent project, aiming to hold an event every semester, twice a year. Our goal is to create a platform for both Japanese and international students of different backgrounds and majors, to share their ideas and feelings. Therefore, *Presentation Hour* is held in both Japanese and English.

Year by year the scale of *Presentation Hour* has been increasing through our effort of searching for speakers, trying to be more creative, and organizing the event more smoothly. This year, at the spring semester event we had four presenters covering a variety of topics, from dialects to consent. In the fall semester, we had a specific theme — “working abroad,” where former NU international students shared their experiences of job hunting and working in Japan, and Japanese presenters told about their working and Ph.D. experiences in Germany.

Our next goals are to recruit new organizers who would create *Presentation Hour* with us, and focus on spreading the word about the project so we could reach more people who might be interested in it.

2. 団体紹介

文責：佐々木あみ

Presentation Hour(以下プレゼンアワーと省略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒアワーと略)の特別企画として 2014 年に発足し、以来、年に 2 回、各学期に 1 回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20 枚のスライド、それぞれが 20 秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

近年はコロナ禍で対面イベントができないことも影響し、メンバーの数が減少している。卒業するメンバーも多く、今後活動を引き継ぐメンバーの確保が重要になっている。2020 年に引き続き 2021 年度も、コロナウイルスの影響により、基本的にオンラインでイベント開催を行った。春学期には、12 人の人数制限をした上で、対面参加のボランティアを募り、ハイブリット方式でイベントを開催した。対面でのコミュニケーションによる、参加者同士の繋がりを重視したことがその理由である。しかし、音声聞き取りにくいなど、ハイブリッドには課題が残る結果となった。

秋学期には、名古屋大学 OB・OG の方にも登壇して頂き、「海外での研究・就職」というテーマの元にイベントを行った。ドイツ在住のスピーカーの方がいらっしゃることもあり、秋学期は完全オンラインで開催する形となった。イベントの内容によって、今後もオンライン・対面方式を柔軟に切り替えたり、混合させたりしながら開催できる見通しができた。

2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ること、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

2-2. 特徴

- 有志の学生が中心となって活動を行っている（学部・学年・国籍は問わない）。
- 誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営を行っている。
- プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮（言語、文化、専門知識）をしていただくことを心掛けている。

3. 活動紹介

3-1. 活動について

文責：佐々木あみ

●ミーティング

週に1度（毎月3～4回）の頻度でお昼休みに Zoom を使用しオンラインミーティングを行い、2ヶ月弱の準備で1回のプレゼンターイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンター当日のスケジュール相談、担当役割決めなどを行っている。

●広報活動

本年度はオンラインでの開催、かつ登校する学生が少なかったことから SNS やメールでの周知に力を入れた。具体的には留学生相談室や各学部、ならびに G30 の先生方に広報を依頼し、イベント告知のメールを流した。Facebook ではイベント前約1ヶ月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うことでイベント周知を図っている。

●NUFSA 連携

本年度前期のプレゼンターイベントは名古屋大学留学生会（NUFSA）と共同で開催をした。NUFSA と連携することで、留学生への周知がさらに強力になり、日本語基準・英語基準で学ぶ学生が会える機会となったと考えている。

3-2. 2021 年度の活動

【7月 2021 年度夏季プレゼンテーションアワー】

文責：鈴木有咲

「第 15 回プレゼンテーションアワー ～世界に広がる 20 秒～」

日時・場所：7月7日（水）13:00～15:00 @zoom&国際棟

参加人数：約 20 人（うち対面 6 人）

当日の流れ：

- 12:45- 受付開始
- 13:00- インTRODakション
- 13:10- アイスブレイク
- 13:20- プレゼンテーション 1
- 13:40- プレゼンテーション 2
- 14:00- 休憩
- 14:10- プレゼンテーション 3
- 14:30- プレゼンテーション 4
- 14:50- イベント終了、写真撮影等

●イベント概要

オンライン会場と対面会場での同時並行での開催となった。対面会場にてプレゼンターの方に発表していただき、その様子をリアルタイムで zoom に映すという方式をとった。Q&A の時間には、対面・オンライン問わず質問が飛び交い、オンラインと対面の垣根を越えたインタラクティブな時間を作ることができた。また、今回は比較的難しいテーマが多かったように思うが、プレゼンターの方々が端的にかみ砕いて伝えてくださったこともあり、楽しみながら勉強にもなる回だった。

●実施した感想

対面とオンラインの並行という初めての試みだったが、大きなトラブルもなく、進めることができたように思う。機械に詳しいメンバーが事前・当日に調整してくれたのが大きかった。そして、制限を設けて少人数ではあるが、久しぶりに対面を交えての開催ができたことを嬉しく思った。並びに、プレゼンターの方々も聞き手が目に見える方が話しやすい、質疑応答や交流の場がもちやすい等のメリットを考えると、コロナ収束の暁にはまた対面開催が実施できることを願う。

●気づき（改善点など）

今回は無事成功したが、オンラインと対面の同時並行での開催が一番手間がかかると実感したため、今後行う際には誰でも準備・運営できるようなより簡単な方法がないか模索していけるといいかもしれない。また、毎回参加者の方をお願いしている事後アンケートの回収率が今回は通常よりかなり低かった。おそらく、クロージングの写真撮影等は対面会場のみであったため、オンラインの参加者の方々はその間に退出したことが原因かと思われる。御礼メールにもアンケート URL は添付していたが、やはりなるべくその場でアンケートに回答していただくことが一番皆さんの負担が少ない方法だと実感した。

●ポスター（日英）



●当日の様子



【12月 2021年度 秋学期プレゼンテーションアワー】 文責：佐々木あみ

「第16回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

テーマ：海外での研究・就職」

日時・場所：12月18日（土）17:00-19:00

参加人数：約30人

当日の流れ

- 16:20- 受付開始
- 17:00- イントロ
- 17:05- アイスブレイク
- 17:15- プレゼンテーション1
- 17:40- プレゼンテーション2

- 17:50- プレゼンテーション 3
- 18:15- 休憩
- 18:25- プレゼンテーション 4
- 18:50- 写真撮影、クロージング
- 19:00- トーキングセッション

● イベント概要

名古屋大学の OB・OG、現役のプレゼンテーションアワードスタッフの合計 4 人がスピーカーとして登壇。テーマを「海外での研究・就職」と題し、留学生として日本で就職活動をした経験や、海外でインターンや研究を行った経験をお話して頂いた。ドイツから中継で登壇して頂くプレゼンターの方がいらっしゃることもあり、完全オンラインでの開催となった。

● 実施した感想

イベントのテーマを設定したこと、更にテーマが国際交流に興味のある層に興味深い内容であることから、申し込み人数がとても多かった。OBOG には海外で活躍するメンバーが多いため、このような内容のイベントはまた是非開催すると良いと思った。

● 気づき（改善点など）

申し込みの時点では、日本人学生よりも留学生の方が多かったが、実際に当日参加では、留学生の数がかなり少なかった。テストの日程や時差のような要因があるのかもしれない。

● ポスター（日英）

MEIDAI INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE EVENT

プレゼンテーションアワード

テーマ
海外での研究・就職

お申し込みはこちらから！

12/18 (土)
17:00-19:00
ZOOM開催

<https://forms.gle/NnHU4qEXybuJcy1D8>

ドイツから参加!
スペシャルOB
ゲスト

ハイ グエン	川村彩	ガン ファイフイ	金丸太志
自分なりの 日本での就活	ドイツ企業での 研究開発 インターン	日本で 就職活動 体験談	ドイツで博士号 取ってみるのも 良いんじゃない? ~意外とお手軽で 楽しいPhD生活~

主催：プレゼンテーションアワード実行委員会&名古屋大学留学生会
&名古屋大学国際教育交流センターアドバイザー部門
お問い合わせ先：presentation.hour@gmail.com

MEIDAI INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE EVENT

Presentation Hour

Theme:
Research, Job-hunting & work
Abroad

Please register from here

12/18 (Sat)
17:00-19:00
ZOOM

<https://forms.gle/NnHU4qEXybuJcy1D8>

Special alumni living in Germany

Hai Nguyen	Aya Kawamura	Gan Hui Hui	Taishi Kanamaru
Unconventional Job Hunting in Japan	My internship as a R&D engineer in German company	My job hunting experience in Japan	Why don't you take a doctoral degree in Germany? "The unexpectedly wonderful life of a PhD"

organizer: International Education & Exchange center (IEEC), Advising & Counselling Services,
Nagoya University Presentation Hour & Nagoya University International Student Association (NUFSA)
Inquiry: presentation.hour@gmail.com

メンバー構成と心がけていること

- アンドリュシュカイテ・アグネ（環境学研究科）
他のメンバーと協力しながら、発表者にとっても参加者にとっても、できるだけ自由で安全な空間作りを心がけています！

- 佐々木あみ（法学部4年）
2年ほどプレゼンテーションアワーに関わらせて頂きました。コロナ禍でなかなか対面開催ができず、難しいこともありましたが、誰でも自己発信ができ、多言語に触れられるこのイベントがこれからも続いていくと嬉しいです！

- 鈴木有咲（法学部4年）
コロナの影響で人々と交流や発信する機会が減っていた中、オンラインではありますがそういった場を少しでも設けられたのは有意義だったのではと感じました。自由に楽しく時には勉強にもなる、プレゼンアワーが大好きです！

- 小島未莉（経済学部4年）
プレゼンターの方々がアイデアを発信しやすく、運営も参加者も積極的に参加できる素敵な空間づくりを心がけています。皆の働きかけのおかげで、さまざまなバックグラウンドを持った方が考えに、本当に毎回たくさんの刺激を受けています。状況に合わせた開催方法で、無理せず、楽しく、今後とも継続して行ってほしいなと思います。

<NUFSA 連携メンバーからのメッセージ>

- From being a member of the presentation hour, I learned how to interact and prepare events with my Japanese friends. It was fun to get to be the MC and engage with audiences.
- Since presentation hour has a limited time for every slide, it keeps the information compact and meaningful! also, the topics are always interesting ranging from science, and inventions, to relationships. My favorite was 'Yamete is a no', which briefly discussed consent in Japanese law. The presenter used the pizza analogy to describe consent between people.